

MieMu

みえむ

三重県総合博物館
MieMu: Mie Prefectural Museum, Japan

Stegodon miensis

2020 Annual schedule



二見浦囃図 歌川国貞作

第27回企画展

名所発見、再発見！ ～浮世絵でめぐる三重の魅力～

4月18日(土)～6月14日(日)

江戸時代の三重は、東西の大動脈である東海道が通るほか、伊勢神宮、さらに熊野や西国三十三所の参詣に、人々が集う地でした。古くから和歌に詠まれた名所のほか、江戸時代に新たに発見されたり、再認識されたりした名所も少なくありません。そこには、挿絵付きの地誌『伊勢参宮名所図会』や広重らが描く宿場や二見浦などの浮世絵(名所絵)が大きな役割を果たしました。今も昔も旅の楽しみの一つ、名所めぐりの魅力を、三重の浮世絵を中心に紹介します。

【料金】※()内は団体料金
一般：800円(640円) 学生：480円(380円)

基本展示とのセット観覧券
一般セット券：1,050円(840円)
学生セット券：630円(500円)
こども無料(高校生以下)



チョウの色と形の多様性

第28回企画展

とびこめ！標本たちの世界へ

7月4日(土)～9月22日(火・祝)

博物館にとって活動の基盤となり、切っても切れない関係にある「標本」。これらの「標本」たちに焦点を当て、昆虫・恐竜・化石・植物・動物などの標本を展示します。標本の多様性や意義を紹介するほか、標本にまつわる当館の活動もクローズアップします。標本は私たちに何を与えてくれるのか、さあ、見て楽しむだけでなく「標本」たちの世界へ。

【料金】※()内は団体料金
一般：800円(640円) 学生：480円(380円)

基本展示とのセット観覧券
一般セット券：1,050円(840円)
学生セット券：630円(500円)
こども無料(高校生以下)



脇差 銘(表)濃州御膳山藤原永貞 (裏)於伊勢田丸作之 萬延元年九月日 江戸時代末期 個人蔵

第29回企画展

刀剣 ～三重の刀とその刀工～

10月10日(土)～12月6日(日)

かつて「武士の魂」とまで称された刀剣は、熱田神宮のご神体である「草薙の剣」のように神が宿る神聖なものとして、また刀工によって鍛え上げられ、そして研ぎすまされた美しさは、日本を代表する美術工芸品の一つとして、我が国の伝統文化を支えてきました。さて、私たちの郷土三重においては、桑名の村正を筆頭に南北朝時代の終わりから室町時代に向け、各地で刀工が活躍し、多くの作品を世に送り出してきました。そこで今回の企画展では、三重県ゆかりの刀剣に焦点をあて、その作品や刀工の存在を紹介いたします。

【料金】※()内は団体料金
一般：800円(640円) 学生：480円(380円)

基本展示とのセット観覧券
一般セット券：1,050円(840円)
学生セット券：630円(500円)
こども無料(高校生以下)

◆移動展示 ※観覧無料



コキクガシラコウモリ

たんけん！はっけん！多気町

2021年2月11日(木・祝)～23日(火・祝)

場所：多気町勢和郷土資料館(多気郡多気町朝柄2889)

県内各地域で、県民の皆さまに三重の多様な自然と歴史・文化やMieMuの楽しみ方を知っていただくため、移動展示を実施します。今回は、多気町で小学生と一緒に調査を行い、その成果を展示するとともに、多気町とその周辺の自然と歴史・文化をワークショップや講座を交えて紹介します。

◆三重の実物図鑑 特集展示 ※観覧無料

三重の実物図鑑では主に人文・自然分野の収蔵品を展示しています。人文分野は資料保存のため定期的に展示替えを行います。

伊賀焼と信楽焼

4月14日(火)～5月17日(日)

伊賀焼は、現在の伊賀市丸柱をはじめとする付近で焼かれた陶器で、安土桃山時代頃から茶の湯とのかかわりで特色ある作品があらわれてきました。当館所蔵の伊賀焼と信楽焼を展示し、両者の関係についても紹介します。



伊賀蹲壺

2021年新春企画

三重のウシたち

12月15日(火)～2021年1月24日(日)

丑年にちなんで、当館の収蔵資料から「牛(ウシ)」に関連した、ウシの仲間・ニホンカモシカの剥製標本、名前にウシがつく植物や生きもの、丑年の伊勢暦、牛がモチーフになった工芸品など、幅広い分野の資料を展示します。



白土墨絵牛追い文煎茶碗

古文書にみる大名の生活、再び(桑名松平家文書)

5月19日(火)～7月12日(日)

当館が所蔵している、桑名藩の松平家に伝来した「桑名藩松平家文書」と呼ばれる江戸時代後期から幕末維新期にかけての大名関係資料約500点の中から、桑名藩や大名の世界がわかるものを紹介します。



動書

伊勢の造船400年史～旧市川造船所資料展～

2021年1月26日(火)～2月21日(日)

古くから造船の地として栄えた伊勢市大湊町にあった市川造船所に受け継がれてきた船具資料、船舶設計図面、事務文書や書簡などの約6万点に及ぶ資料の中から注目される資料を紹介します。

【伊勢市教育委員会との共催展示】



市川造船所全景

戦争と三重～子どもたちが見た戦争～

7月14日(火)～8月30日(日)

今年は第2次世界大戦の終戦から75年目にあたります。戦時下における子どもたちの学校生活に関する資料を展示し、当時の子どもたちのくらしがどのようなものであったのかを振り返ります。



紙製のランドセル

公文書にみる明治の大合併

2021年2月23日(火・祝)～4月11日(日)

明治政府の中央集権化、地方制度改革が推し進められた明治20年代には、市町村合併により新しい市町村が誕生しました。その様子を、当館が所蔵する歴史的公文書や絵図・地図などで紹介します。



各村連合村会書類入

※上記期間以外も収蔵品の展示を行っています。

三重の古墳時代

9月16日(水)～11月29日(日)

時代別のシリーズ展示の第3弾。古墳を地域のシンボルとし、効率的な農業や海を越えての交流に力を注いだ古墳時代の人々のくらしを、三重県内で出土した埴輪や玉類、土器などを通して紹介します。

【三重県埋蔵文化財センターとの共催展示】



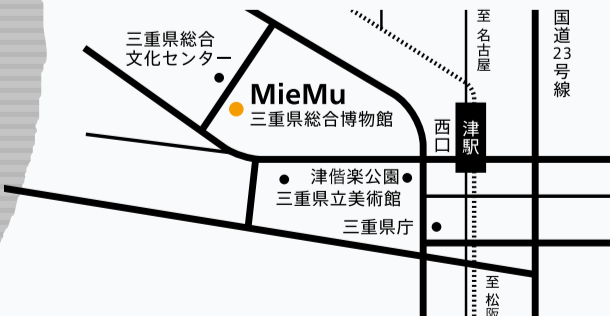
人物埴輪(巫女) 石薬師東古墳群

利用案内 ●開館時間

- 交流創造エリア 午前9時～午後5時(無料)
- 展示エリア 午前9時～午後5時(最終入場は、閉場30分前まで)
*開館時間を変更する場合があります。
- 休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12/29～1/3)、その他別途定める日
- 観覧料
基本展示 一般520円(410円)、学生310円(240円)、高校生以下無料 ※()内は団体料金
企画展示 展覧会ごとに別途料金を定めます。詳しくは各展覧会のお知らせをご覧ください。
年間パスポート 一般1,670円 学生1,040円
*学校の教育活動として県内の小・中・高・特別支援学校等の団体が観覧する場合、障害者手帳等をお持ちの方および付き添いの方1名の観覧は無料です。
*毎月第3日曜日は家庭の日で、正規観覧料の2割引でご利用いただけます。

交通案内 ●津駅まで

- 【鉄道】名古屋から近鉄またはJRで約1時間、大阪から近鉄で約1時間30分
津駅(近鉄名古屋線、JR紀勢本線、伊勢鉄道)西口下車
- 津駅(西口)から
【バス】三重交通バス 総合文化センター行きまたは夢が丘団地行き約5分(「総合文化センター前」下車すぐ)
- 【徒歩】約25分
- 【徒歩】約25分
- 【自動車/観光バス】伊勢自動車道「津IC」から約10分/伊勢自動車道「芸濃IC」から約20分/駐車場約1,400台 *総合文化センターと共用。思いやり駐車場あり。



MieMu みえむ 三重県総合博物館
MieMu: Mie Prefectural Museum, Japan

三重県津市一身田上津部田3060 〒514-0061
3060 Isshinden-kouzubeta Tsu, Mie 514-0061, Japan
tel 059-228-2283 fax 059-229-8310 mail MieMu@pref.mie.lg.jp
HP https://www.bunka.museum.lg.jp/MieMu/
twitter @mie_pref_museum
facebook https://www.facebook.com/mie.pref.museum

